

# 民生局健康部

## 【特別会計国民健康保険費】

実施計画事業

令和5年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	特別会計 国民健康保険	款	1	項	3	目	1	説明資料	27	項目番号	1(1)
事務事業名	特定健康診査事業								所管部課名	健康部 健康管理支援課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務							
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律第125条							
実施計画	大柱	地域で支え合う福祉のまちの再興					分野別計画	データヘルス計画
	中柱	人生100年時代に向けた健康づくり						
	小柱							
目標	生活習慣の改善、病気の予防を目的とする特定健康診査を実施し、その結果から自身の健康状態を把握し、糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病の発症や重症化を予防し健康寿命の延伸及び医療費の適正化を目指す。							
目標達成に必要なこと	特定健診を受診しやすい環境を整える。 特定健診を受診することは必要なことであるという意識を健診対象者が持つことができる。							
具体的な事業内容	(1)高齢者の医療の確保に関する法律第20条の規定に基づき、40～74歳までの被保険者を対象に事業を実施する。 (2)内臓脂肪の蓄積に起因する高血圧症、脂質異常症、糖尿病等の生活習慣病を発見し、生活習慣の改善、病気の予防を目的とする「特定健康診査」を、横須賀市健診センター及び医療機関に委託して実施する。 (3)対象者に受診券を発送し、健診受診の必要性を意識付けする。市の広報紙やポスター掲示等で広く周知したり、受診が確認できない者には電話や通知による受診勧奨を行い、受診率の目標達成を目指す。							

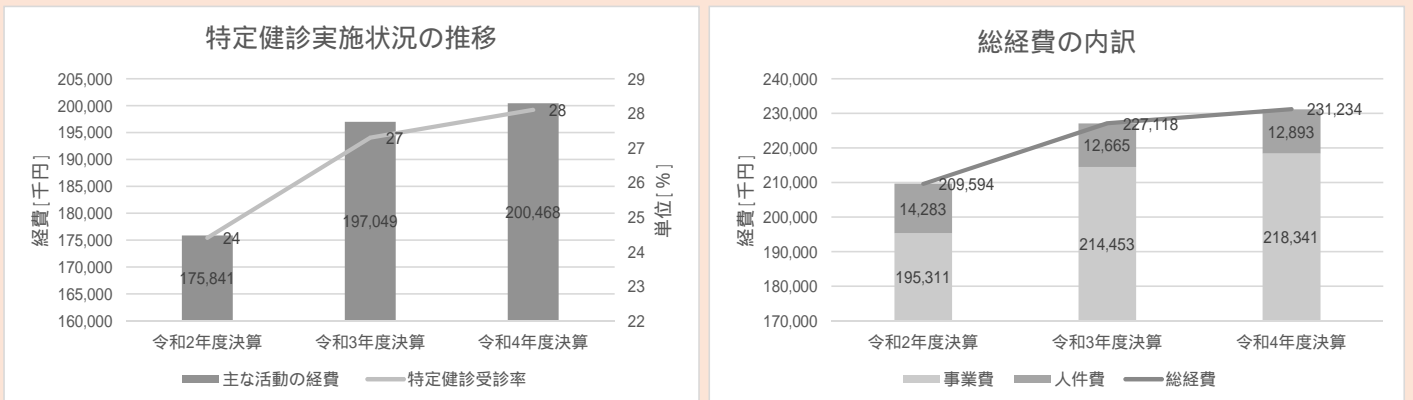
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	
特定健診の実施	特定健診受診率	24	27	28	%	
その他の活動実績		活動(指標)名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位
特定健診未受診者勧奨	勧奨実施件数	17,913	31,127	27,581	件	
人間ドック助成・他健診結果提出による記念品贈呈	助成等実施件数	412	494	482	件	

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	195,311	214,453	218,341	282,761	千円
主な活動の経費(上記(2))	175,841	197,049	200,468	259,668	千円
その他の活動経費(上記(2)以外の経費)	19,470	17,404	17,873	23,093	千円
b 人件費	14,283	12,665	12,893	12,791	千円
正規職員	1.7	1.4	1.4	1.4	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	982	1,090	1,151	千円
総経費(a + b)	209,594	227,118	231,234	295,552	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(上記(2))】と【総経費の内訳】)



<p>主な活動に係る変更点 (上記(2)) R2年度 R3年度</p>	<p>・令和2年度はコロナの影響により、時期を遅らせたが、令和3年度は通常体制に戻し、例年どおり実施した。 ・保健所健診センターの健診実施を11月から開始した。 ・医療機関での感染予防対策に対し、5月～9月の期間で実施した特定健診の委託料に臨時的加算を行った。</p>	<p>主な活動に係る変更点 (上記(2)) R3年度 R4年度</p>	<p>SMSを活用した受診勧奨を実施した。</p>
<p>年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)</p>	<p>令和2年度受診率は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、24.4%(法定報告値)と低迷したが、令和3年度受診率は、27.3%(法定報告値)、令和4年度受診率28.1%(令和5年5月末時点)と徐々に受診率が回復してきている。受診率と経費は比例関係にあるため、令和3年度と比較すると令和4年度の事業に係る経費は増額している。</p>		
<p>今後の事業の方向性</p>	<p>効果的な周知・啓発・勧奨を継続して実施していく。</p>		

令和5年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	特別会計 国民健康保険	款	1	項	3	目	1	説明資料	28	項目番号	1(2)
事務事業名	特定保健指導事業								所管部課名	健康部 健康管理支援課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務							
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律第24条							
実施計画	大柱	地域で支え合う福祉のまちの再興					分野別計画	データヘルス計画
	中柱	人生100年時代に向けた健康づくり						
	小柱							
目標	特定健診の結果特定保健指導の対象となった方が、特定保健指導を利用し自己管理を実践できる習慣を身につけることで、健康寿命の延伸や生涯現役社会の実現につなげる。							
目標達成に必要なこと	特定保健指導実施機関を増やし、特定保健指導を利用しやすい環境を整える。 生活習慣病予備軍のうちに改善することで、健康寿命の延伸につながるという認識を持つことができる。							
具体的な事業内容	(1) 特定健診の結果により、生活習慣の見直しが必要と判断された方(対象者)に対して、特定保健指導を実施する。 (2) 通知や電話により特定保健指導の利用勧奨を行い、実施率の向上を目指す。 (3) 対象者がより利用しやすい環境を整え、実施率の向上を目指す。 (4) 初回面接実施者にスポーツ施設無料体験利用券を配布することで、生活習慣改善に向けて実践しやすい環境を提供する。 (5) 特定保健指導等実施機関を対象とした研修会を開催し、指導者のレベルアップを図ることで、特定保健指導の更なる充実を目指す。							

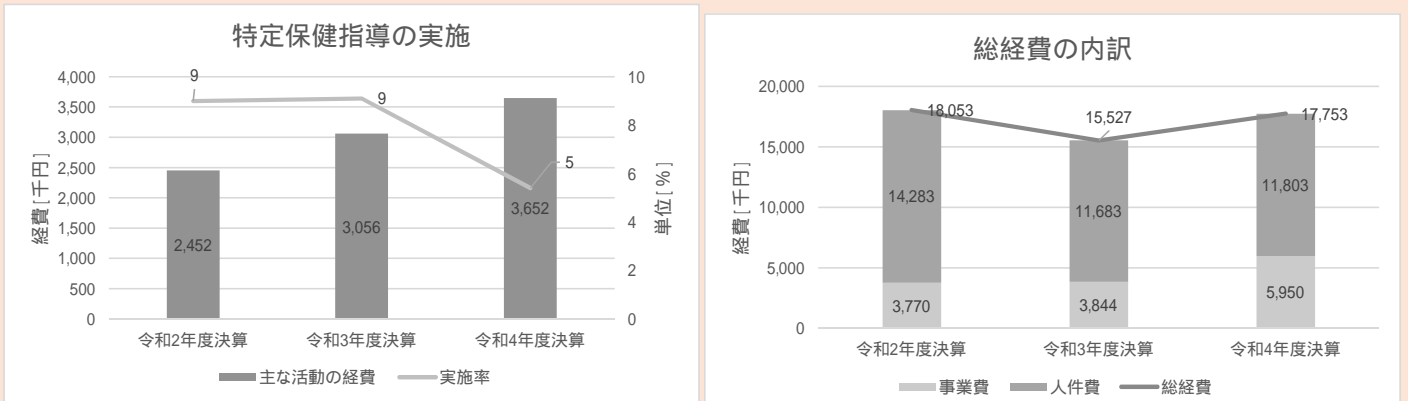
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位
特定保健指導の実施	実施率	9	9	5	%
その他の活動実績	活動(指標)名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位
電話による利用勧奨	電話件数	321	853	1,407	件
通知による利用勧奨	通知件数	1,626	1,450	1,530	件

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	3,770	3,844	5,950	18,617	千円
主な活動の経費(上記(2))	2,452	3,056	3,652	13,101	千円
その他の活動経費(上記(2)以外の経費)	1,318	788	2,298	5,516	千円
b 人件費	14,283	11,683	11,803	11,640	千円
正規職員	1.7	1.4	1.4	1.4	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	18,053	15,527	17,753	30,257	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(上記(2))】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (上記(2)) R2年度 R3年度	ICTを活用した特定保健指導を開始し、新型コロナウイルス感染症拡大時でも、事業実施を継続する体制を整えた。	主な活動に係る変更点 (上記(2)) R3年度 R4年度	令和4年度は利用勧奨(架電・通知)を事業者委託した。ICT特定保健指導と同じ委託事業者から、電話勧奨を行うことで、勧奨時に対象者が利用を希望された際に予約をその電話をもって行えるようになったため、利便性が向上した。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和4年度は、利用勧奨業務を外部委託したことで総経費が上昇しているが、自庁では実現が難しい複数回、夜間、休日に行う架電による利用勧奨の実施や、はがきからA4圧着のチラシに変更するなど、対象者の意識に残りやすい勧奨を行えるようになったことで、特定保健指導利用者の増加につながっている。令和3年度のICTを活用した保健指導終了者は6名であったが、令和4年度実績として(令和5年5月末時点)終了者44名、初回面接実施で指導中の者は43名となっており利用者は増加している。		
今後の事業の方向性	実施率達成のため事業を継続し、利用勧奨の強化を進めていく。		

令和5年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	特別会計 国民健康保険	款	1	項	3	目	1	説明資料	29	項目番号	1(3)
事務事業名	重症化予防事業								所管部課名	健康部 健康管理支援課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務							
根拠法令	国民健康保険法第82条							
実施計画	大柱	地域で支え合う福祉のまちの再興					分野別計画	データヘルス計画
	中柱	人生100年時代に向けた健康づくり						
	小柱	新規人工透析患者数の抑制を目指した取り組み						
目標	生活習慣病をはじめとした、国保被保険者の健康の保持増進のための効果的かつ効率的な保健事業を展開することにより、重症化の予防、健康寿命の延伸及び医療費適正化につなげる。							
目標達成に必要なこと	対象者選定の基となる特定健診受診者数の増加 生活習慣病への理解や、健康の保持増進の意識の高まり							
具体的な事業内容	(1)医療機関との連携を推進し、特定健診の結果で慢性腎臓病が疑われる者を適切な治療に結び付ける。 (2)腎機能低下かつ糖尿病治療中の者に対して、かかりつけ医と連携した糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施する。 (3)特定健診の結果やレセプトデータを用いて、生活習慣病が重症化するリスクが高いにもかかわらず治療をしていない者に対して、通知や電話、訪問指導により医療機関への受診勧奨を行う。また、糖尿病治療中断者についても受診勧奨通知を送付する。							

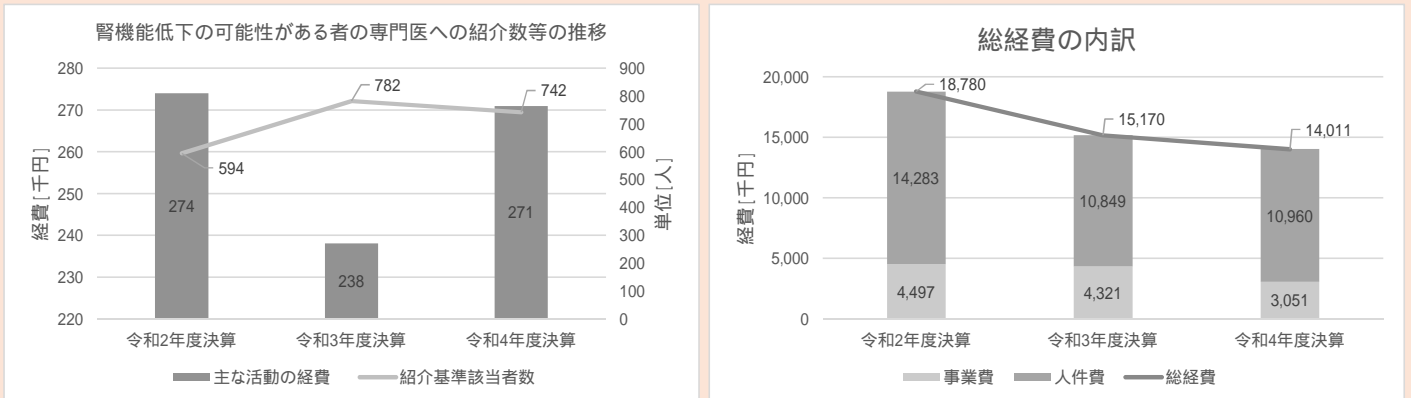
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位
腎臓機能低下の可能性のある者を専門医に紹介する	紹介基準該当者数	594	782	742	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位
糖尿病性腎症重症化予防事業	案内送付件数	100	79	99	通
未治療者に対する医療機関への受診勧奨	勧奨件数	669	745	904	通

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	4,497	4,321	3,051	6,457	千円
主な活動の経費(上記(2))	274	238	271	714	千円
その他の活動経費(上記(2)以外の経費)	4,223	4,083	2,780	5,743	千円
b 人件費	14,283	10,849	10,960	10,808	千円
正規職員	1.7	1.3	1.3	1.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	18,780	15,170	14,011	17,265	千円

(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(上記(2))】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (上記(2)) R2年度 R3年度	帳票類をより分かりやすい内容に修正した。	主な活動に係る変更点 (上記(2)) R3年度 R4年度	特定健診実施医療機関、腎臓専門医、市の3者が連携を深め、現状と課題を共有する場として、「横須賀市国民健康保険CKD病診連携システム及び腎臓病対策における情報共有の場」を開催した。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和4年度の専門医への紹介件数は結果を回収できているのが382件(令和5年8月時点)である。		
今後の事業の方向性	医療機関の協力を得ながら、事業を継続していく。		